

令和3年5月31日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

5月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

【入居者状況】

入居者9名（女性 8名 男性 1名）

平均年齢 90歳 平均介護度 2.7

・入退去なし ・入院・・・1名

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・ 計算ドリル・新聞折り・書写・雑巾縫い・お手玉・折り紙
- ・ ピアノ演奏
- ・ ラジオ体操・歩行訓練・下肢訓練
- ・ 季節行事～つつじ見学（三隅神社・龍雲時等）

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 1件（腰椎圧迫骨折・・・原因不明）
- ・ ヒヤリハット 2件（転倒の危険・・・1件 薬を飲み忘れそうになる）

【その他】

- * コロナワクチン予防接種 1回目実施
2回目は来月予定

* 面会制限について

・ 県外の方はリモート面会を行っている。リモートでの面会は画面越しにて入居者の方には理解が出来ない為、職員が会話の内容を伝えながら家族の方の存在が分かるように対応している。

- ・ドア越し面会はお互いに身近で存在を感じる事は出来るが、ドア越しの面会というのが入居者の方には理解が出来ず、ドアを開けて欲しいという強い思いもある。

*外出支援について

- ・人が多い場所への外出は出来ないが、少し遠出し三隅方面まで行った。以前家族と行ったことがあると懐かしさもあり大変喜ばれた。

- ・コロナウイルスの影響で以前のように度々外出が出来ず、買い物やイベント等の支援も出来ない為、楽しみ活動が減ってきている。皆さんのコロナ疲れや気力・体力の低下傾向が感じられ、長期化する中で他のホームの活動等を参考にしながら対応を工夫していきたいと思う。

【文書照会に対する意見】

- ・直接面会が出来ない中、リモートやドア越し面会等利用者の方の気持ちに寄り添い、最大限出来る努力をされていると感じた。

- ・コロナワクチン接種後の副反応等、体調変化には注意していただきたい。職員が接種後体調不良等で人員不足が発生した場合は市に連絡してもらえたらと思う。

以上の意見やアドバイスをいただきました。